

沼田市新年度予算案 実質マイナス予算 一般会計 203億1,606万円

16日、沼田市の新年度予算案の内示が行なわれ、一般会計は、前年比2.7%増の203億1,606万円で、国のこども手当増額分7億4,000万円を除くと実質1.0%減の6年連続マイナス予算です。

投資的経費の3分の1が土地区画整理事業に



駐車場になっている天狗広場

歳出の投資的経費9億円のうちの3分の1の3億2,505万円が「中心市街地土地区画整理事業」に使われます。毎年待機児童が数十人規模で発生している保育園や入所待機者が100人規模の特別養護老人ホーム、希望者が多く慢性的に不足している市営住宅など、市民生活に切実に密着している施設の増設などはまったく予算化されていません。

歳入の市税は0.9%減の62億5,577万円、地方交付税は4.7%増の63億8,900万円、地方債依存度は1.1%減の7.1%、経常収支比率は1.9%減の100.6%、実質公債費比率は0.5%減の19.1%を見込んでいます。特別会計などを含む総予算額は0.1%増の338億円です。

利南公民館に太陽光発電システム

新規事業では、利南公民館に太陽光発電システムを1,187万円で設置します。新宿区とのカーボンオフセットを行なう地球温暖化対策推進事業は88万円、白沢地区の望郷ライントイレ設置に670万円、B級グルメ研究事業に50万円、地域自殺対策緊急強化事業に19万円などが予算化されています。



太陽光発電システムの設置が予定されている利南公民館

こども手当総額は9億6,200万円

こども手当支給事業は9億6,200万円。対象は0歳から中学校修了までの子ども。親の所得制限はなく、1人月額26,000円を支給するが、10年度は半額の13,000円。費用負担は全額国庫負担というわけでしたが、10年度は現行の児童手当分の費用は継続して子ども手当に含めるということになりました。

現行の児童手当については、対象は0歳から小学校修了まで、親の所得制限があって（約800万円前後）0歳から3歳未満が月額1万円、3歳からは5千円で、第3子以降は年齢に関係なく1万円。費用は自治体や親の働いている企業なども負担している。

他に児童扶養手当支給に約2億円、老人保護措置に1億円、知的障害者施設訓練等支援に1億8,500万円、子どもの医療費無料化など福祉医療費に4億8,000万円、生活保護の扶助費は前年比1億円増の4億円、環状線事業に8,500万円、道路補修事業に2,000万円増の6,800万円、望郷ライン関係の借金返済に2億7,500万円など。

ホットステーション ぬまたん家 オープン！

かねてから市民要望のあった「沼田市市民活動センター“ホットステーションぬまたん家”」がオープンし、記念式典が2月13日午後2時から設置された保健福祉センターにおいて催されました。センターの愛称を公募し、「ホットステーション」と「ぬまたん家」の2つが選ばれ、併用することになり、応募した2人の表彰が行われました。式典後、「見直そう！！近所力・地域力」と題して多田そうべい氏が記念講演会を行いました。ぬまたん家は、市民活動などを行ってれば誰でも活用できます。井之川博幸議員は、「市民活動支援センター」の設置について、一般質問等で、何度か要求してきました。井之川博幸議員は詳細は当施設にお問い合わせください。（22-8444）



保健福祉センター4階で開催された記念式典

2010年2月21日	No.507
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	